



株主の皆様へ

第113期 報告書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

■ 株主の皆様へ	1
■ セグメント別事業概況	3
■ TOPICS	5
■ 連結財務諸表	7
■ 会社概要・株式の状況、役員の状況	9
■ 事業所	10

■ ■ ■ 株主の皆様へ

株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、代表取締役社長に就任いたしました田谷純でございます。

当社は、本年6月に創立90周年を迎えました。節目となる創立100周年に向け、気持ちを新たに社業の発展に尽力してまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、引続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

さて、当社グループの第113期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）事業年度が終了しましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

代表取締役社長
最高執行責任者(COO)
最高財務責任者(CFO)

田谷 純



事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復基調を維持しているものの、国内では、原材料価格等のコスト上昇や相次ぐ自然災害、海外では、世界的な貿易摩擦の長期化、中国での景気減速等による経済への影響が懸念され、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、当期からスタートしております中期経営計画に基づき、国内事業での安定的な収益基盤の構築、「技術のニットク」の強化と新技術・新製品の開発等に取り組み、企業価値向上に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は、自動車製品関連事業における国内外での受注増加により594億1千7百万円（前期比3.8%増）となりました。

損益面につきましては、一定の増収効果があったものの、原材料価格の高騰や固定費負担の増加等から、営業利益は29億7千3百万円（前期比9.5%減）、経常利益は47億3千4百万円（前期比19.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は27億9千5百万円（前期比29.4%減）となりました。

また、当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ30億8千2百万円減少の735億7千2百万円、負債合計は、前連結会計年度末に比べ33億6千6百万円減少の296億1千4百万円、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億8千4百万円増加の439億5千8百万円となりました。

期末配当金につきましては、利益配分に関する基本方針等を総合的に勘案し、前年の期末配当金から1株当たり2円増配し、20円とさせていただきます。これにより、中間配当金を含めました年間配当金は1株あたり36円となります。

今後の見通し

2020年3月期の業績予想につきましては、各事業セグメントの需要予測等を踏まえ、売上高は617億円（前期比3.8%増）を見込んでおります。利益面については、原材料価格や為替の動向、原価改善の進捗等を踏まえつつ、営業利益は28億円（前期比5.8%減）、経常利益は48億5千万円（前期比2.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は30億円（前期比7.3%増）を見込んでおります。

中期経営計画策定について

当社は、2020年度（2021年3月期）を最終年度とする中期経営計画を策定いたしました。

当社を取り巻く経営環境は、自動車業界は100年に一度と言われる大変革期を迎えており、塗料業界は業界内の熾烈な競争が続くことが予想されます。こうした中、当社は国内事業で安定的に利益を生み出す体質への転換により他社に対する競争優位性を確立し、持続可能な成長を実現する体制を構築するとともに、ニットグループ全社が一丸となり、経営の基本戦略を着実に実践し、さらなる企業価値向上を追求する企業グループを目指してまいります。

なお、2021年3月期の業績目標は以下のグラフに記載のとおりです。

経営の基本戦略

1 国内事業の安定的な収益基盤の構築

機能性・軽量化・環境対応を主眼に、高付加価値製品の販売強化、生産効率化とコスト低減、品質向上を推進し、安定的かつ継続的な収益基盤を構築

2 「技術のニット」の強化と新技術・新製品の開発

ニットらしさ・強みを生かした高機能・高付加価値製品の開発に加え、次世代環境車、新モビリティサービスの進展を見据えた将来技術の開発や防音技術を生かした新たなビジネス展開を目指す

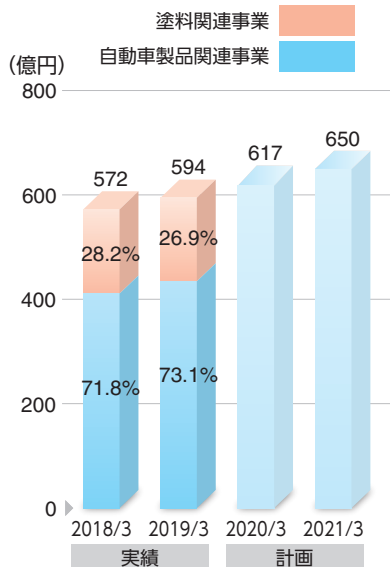
3 グローバル展開の加速

自動車メーカーのグローバル展開に対応し、技術提携先との連携・支援を強化

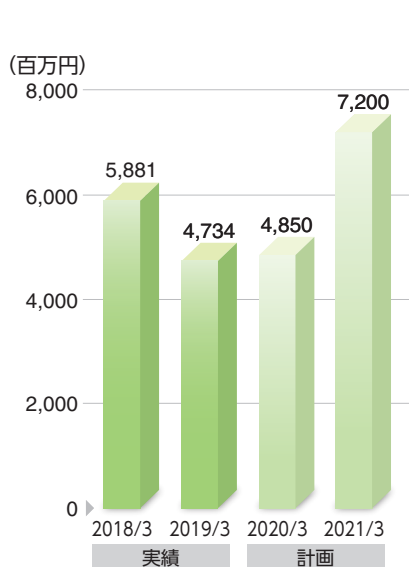
4 持続的な成長に向けた事業基盤の充実

働きやすい環境づくりやESG（環境・社会・ガバナンス）への取組みを推進し、将来に向けた事業基盤の充実を図る

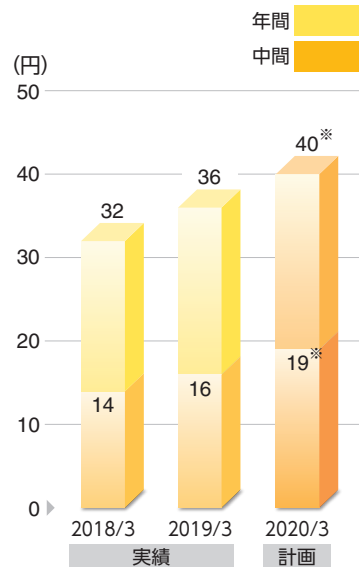
1 売上高（セグメント別）



2 経常利益



3 配当金

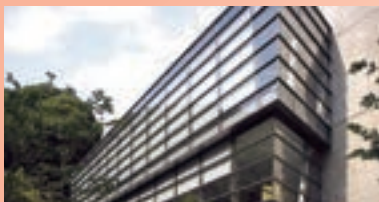


**記念配当2円を含む

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2019年6月

■ ■ ■ セグメント別事業概況



▲FRP屋根用防水材「タフシール防水工法」
(坂の上の雲ミュージアム)



▲塗り床材「ユータックE-30N」
(ヤマト運輸(株)関西ゲートウェイターミナル)

塗料に要求される機能は多種多様。多彩なニーズに応える当社の塗料が評価され、防水材・塗り床材などが多くの場所で採用されています。



▲フロアカーペット (防音材)

高い防音性能と軽量化を実現する自動車用フロアカーペット。変革期を迎える自動車業界で、当社の売上拡大に貢献する戦略製品の1つです。



▲AIR DO特別塗装機「ペア・ドゥ北海道JET」

当社の高い技術で開発した塗料は、空の厳しい環境から航空機の機体を護り、鮮やかに彩色します。

塗料関連事業

26.9%

売上高

594 億円

自動車製品
関連事業

73.1%



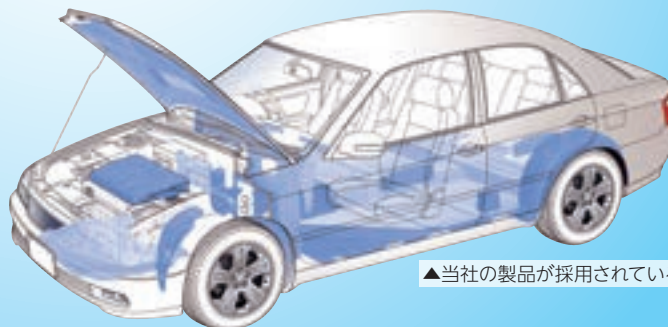
▲塗布型制振材

長年にわたる技術の蓄積を基に、自動車メーカーの最新の生産ラインに適合させた製品です。



▲音響解析のための実車テストベンチ

防音材の開発には、実車を用いた音響測定・解析など多くの研究を積み重ねます。先端設備を駆使し、徹底して「音」を究(きわ)める。研究開発力も当社の強みです。

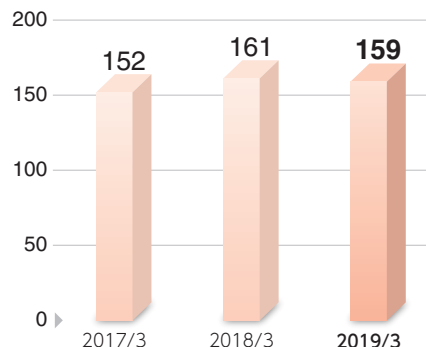


▲当社の製品が採用されている部位

優れた製品を最適な場所に配置する。防音・防錆を軸とした高度な技術の粋が自動車のさまざまな部位で機能を発揮し、「動く快適空間」を生み出します。

塗料関連事業

売上高 (単位：億円)



売上高 159 億 7 千 3 百万円	セグメント利益 1 億 7 百万円
---	------------------------------------

国内需要の低迷に加え、原材料価格の高騰や固定費増加によるコスト上昇の影響が大きく、業績は前期を下回る結果となりました。

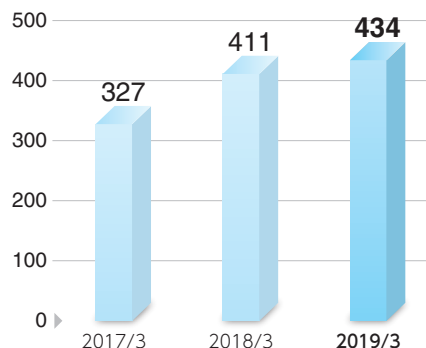
品種別売上高につきましては、新規顧客の確保・拡販等により、建築・構築物用塗料のうち、屋根用塗料が前期比11.6%増加し、主力の床用塗料も前期比5.4%増加となりました。一方、国内需要の低迷、機能性塗料の多様化等に起因する競争激化の影響から、防水用塗料は前期比0.6%減とほぼ前期並みにとどまりました。

また、工事用関連売上の集合住宅大規模改修工事につきましては、利益率が向上したものの工事の進捗遅れ等により売上高は前期比3.7%減となりました。

この結果、当セグメントの売上高は159億7千3百万円（前期比0.9%減）、セグメント利益は1億7百万円（前期比76.0%減）となりました。

自動車製品関連事業

売上高 (単位：億円)



売上高 434 億 3 千万円	セグメント利益 28 億 5 千 8 百万円
----------------------------------	--

売上高は、新規部品を中心とした受注増加により、大幅増収を達成した前期をさらに超える結果となりました。セグメント利益は一定の増収効果があったものの、生産効率改善の取組みは継続中であり、セグメント利益率の改善には至りませんでした。

品種別売上高につきましては、主力製品の吸・遮音材は、前期比10.7%増とさらなる伸張を継続しました。制振材は、製品構成の変化等から前期比16.1%減となりましたが、防錆塗料等の塗材は前期比4.1%増、金型等その他売上も前期比3.7%増と順調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は434億3千万円（前期比5.6%増）、セグメント利益は28億5千8百万円（前期比1.0%増）となりました。

その他 (保険代理業)

売上高 1 千 3 百万円	セグメント利益 6 百万円
--------------------------------	-------------------------

TOPICS

「第1回高機能塗料展（コーティングジャパン）」に出展。

当社は、2018年12月5日から7日の3日間、幕張メッセ（千葉県千葉市）で開催されました「第1回高機能塗料展（コーティングジャパン）」に、高機能塗料や防音材等の当社製品を出展いたしました。

「高機能塗料展」は、自動車、エレクトロニクス、建築をはじめとしたさまざまな分野で必要不可欠な「塗料・コーティング技術」に特化しつつ、工業用、建築用に限らず、塗料・塗装・コーティングに関するあらゆる製品を対象とした業界最大規模の総合展です。

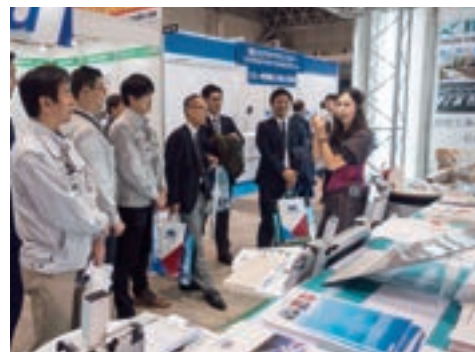
同展は「高機能素材Week 2018」の一環として、「高機能金属展」や「高機能プラスチック展」、「高機能フィルム展」など8つの展示会と同時開催されたこともあり、会場には3日間で約59,000名と大変多くの来場者が集まりました。

当社ブースでは、『マジックを超える、ニットの商品シリーズ』と題し、2人のプロマジシャンによる多彩なマジックを交えつつ、紫外線が当たっても外壁の色が変化しない高いUVカット性能を有する塗料「シルビアUVカットシリコンクリヤー」など、多くの製品を紹介し、高い機能を有する当社の多様な製品群を高くアピールすることができました。

また、来場者からは当社の防音材に関するご質問を含め、多種多様なご要望、ご質問をいただきました。今後のさらなる拡販に向け、引き続き積極的な営業展開を進めるとともに、「技術のニット」として、当社の持つ高い技術力・開発力を活かした高機能塗料、高機能製品の開発に継続して取り組み、持続的な事業拡大に努めてまいります。

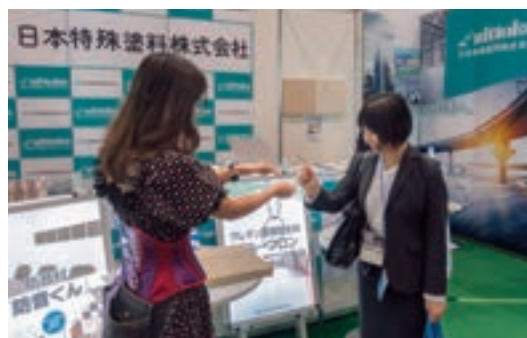
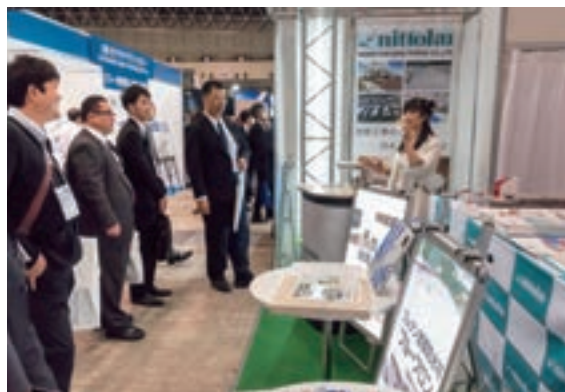


▲会場内の様子



▲▼賑わいをみせるニットブース。

ブース内でのマジックを交えた製品紹介には、多くの来場者が足を止め、効果的な製品アピールにつながりました。



タイ「SNC社」で新オフィスを竣工しました。

タイにあります当社関連会社「SNC Sound Proof Co.,Ltd (SNC社)」は、このたび、新たなオフィス棟を建設し、2018年9月にその完成披露竣工式を行ないました。

同社は、主に自動車向け制振材（メルシート）・防音材の東南アジアにおける生産拠点として、当社、当社取引先であります株式会社中外、そしてタイ大手自動車部品メーカー・サミットグループのSummit Auto Seat Industry社、3社の合併会社として1994年に設立され、操業を開始いたしました。

創立25周年の節目に新オフィスの竣工に至り、社員一同大きく志気が高まり、活気にみなぎっています。

四半世紀の間に、周辺地域、そして自動車業界全体を取り巻く社会環境は著しく変化してまいりました。同社は、タイにおける当社グループの主力拠点として、顧客ニーズに応じた新製品の開発、高品質な製品の生産・供給をとおして、変わりゆく市場の中でその存在価値を高めていくことが期待されます。



▲新オフィス外観

地域交流企画「夏休み自由研究教室」を開催しました。

当社は、夏休みの終わりが近づく2018年8月25日、東京都北区王子の当社本社にて、地域交流企画として「夏休み自由研究教室」と題した講座を開催いたしました。

小学生の夏休みの自由研究をサポートすることを目的とした講座の開催は、当社にとって初の試みであり、募集の段階から手探りの運営となりましたが、近隣にお住まいの小学生18名とその保護者、さらに小学生以下の子どもたちも合わせて、38名のご参加をいただき、大変にぎやかなイベントとなりました。

自由研究教室のテーマは『カゲ(影)に色を付けよう』。参加者に「なぜ?」を感じてもらえるよう、光の3原色などの詳しい解説の前に、ライトとカラーセロファンを使って影に色が付く体験を楽しんでもらうなど工夫も凝らし、自由研究の良い題材を提供できたのではないかと考えています。

今回は、小学生を対象とした企画でしたが、当社を知ってもらうことも地域交流企画の目的の1つです。今後は、地域交流や地域防災に役立つ等の観点に加え、事業内容や製品など当社に密接なテーマも検討し、継続的な活動に取り組んでまいります。



▲自由研究教室の様子

■ ■ ■ 連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(金額単位：百万円)

科 目	当 期 (2019年3月31日現在)	前 期 (2018年3月31日現在)	科 目	当 期 (2019年3月31日現在)	前 期 (2018年3月31日現在)
資 産 の 部			負 債 の 部		
流動資産	27,872	29,377	流動負債	19,793	22,715
現金及び預金	7,662	7,760	支払手形及び買掛金	8,748	9,058
受取手形及び売掛金	12,021	12,981	電子記録債務	3,772	3,353
電子記録債権	3,888	3,974	短期借入金	2,486	3,067
商品及び製品	1,477	1,573	未払法人税等	245	510
仕掛品	435	600	役員賞与引当金	89	91
原材料及び貯蔵品	1,221	1,138	その他	4,449	6,634
その他	1,170	1,355	固定負債	9,821	10,265
貸倒引当金	△ 4	△ 7	長期借入金	5,222	4,966
固定資産	45,699	47,278	退職給付に係る負債	3,965	4,090
有形固定資産	25,380	25,044	その他	633	1,207
建物及び構築物	8,294	8,234	負債合計	29,614	32,981
機械装置及び運搬具	9,262	7,555	純 資 産 の 部		
土地	4,695	4,695	株主資本	36,391	34,594
その他	3,127	4,559	資本金	4,753	4,753
無形固定資産	1,085	1,191	資本剰余金	4,237	4,237
その他	1,085	1,191	利益剰余金	28,146	26,103
投資その他の資産	19,232	21,042	自己株式	△ 745	△ 499
投資有価証券	17,311	19,117	その他の包括利益累計額	3,858	5,645
長期貸付金	323	322	その他有価証券評価差額金	4,036	5,383
繰延税金資産	126	162	為替換算調整勘定	△ 136	309
その他	1,512	1,475	退職給付に係る調整累計額	△ 41	△ 48
貸倒引当金	△ 41	△ 35	非支配株主持分	3,708	3,434
資産合計	73,572	76,655	純資産合計	43,958	43,674
			負債純資産合計	73,572	76,655

■ 連結損益計算書

(金額単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	(2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
売上高	59,417	57,260
売上原価	47,001	44,663
売上総利益	12,416	12,597
販売費及び一般管理費	9,442	9,311
営業利益	2,973	3,286
営業外収益	1,925	2,746
営業外費用	163	151
経常利益	4,734	5,881
特別利益	30	125
特別損失	160	237
税金等調整前当期純利益	4,603	5,769
法人税、住民税及び事業税	947	1,152
法人税等調整額	130	△ 134
当期純利益	3,526	4,750
非支配株主に帰属する当期純利益	730	790
親会社株主に帰属する当期純利益	2,795	3,960

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	(2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	8,292	6,235
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 6,760	△ 7,326
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,573	232
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 56	46
現金及び現金同等物の 増減額	△ 97	△ 812
現金及び現金同等物の 期首残高	7,743	8,555
現金及び現金同等物の 期末残高	7,645	7,743

■ 連結株主資本等変動計算書 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(金額単位：百万円)

残高及び変動事由	株主資本				株主資本 合計	その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式		その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	4,753	4,237	26,103	△ 499	34,594	5,383	309	△ 48	5,645	3,434	43,674	
当期変動額												
剰余金の配当			△ 753		△ 753						△ 753	
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,795		2,795						2,795	
自己株式の取得				△ 245	△ 245						△ 245	
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						△ 1,346	△ 446	6	△ 1,786	273	△ 1,512	
当期変動額合計	-	-	2,042	△ 245	1,796	△ 1,346	△ 446	6	△ 1,786	273	284	
当期末残高	4,753	4,237	28,146	△ 745	36,391	4,036	△ 136	△ 41	3,858	3,708	43,958	

会社概要・株式の状況 (2019年3月31日現在)

会社概要

商号	日本特殊塗料株式会社
英文社名	Nihon Tokushu Toryo Co., Ltd.
創業年月日	1929年6月1日
資本金	4,753百万円
従業員数	578名(169名*) [連結1,192名(464名*)]

* () 内人員は臨時従業員の外数です。

大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
AUTONEUM HOLDING AG	31,151百株	14.10%
関西ペイント株式会社	18,677	8.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,847	4.91
株式会社三菱UFJ銀行	8,788	3.98
明治安田生命保険相互会社	7,560	3.42
株式会社中外	7,267	3.29
トヨタ自動車株式会社	7,054	3.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,902	3.12
株式会社ヒロタニ	4,990	2.26
ニットク親和会	4,611	2.09

(注) 当社は自己株式1,515,421株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 役員の状況 (2019年6月21日現在)

役員

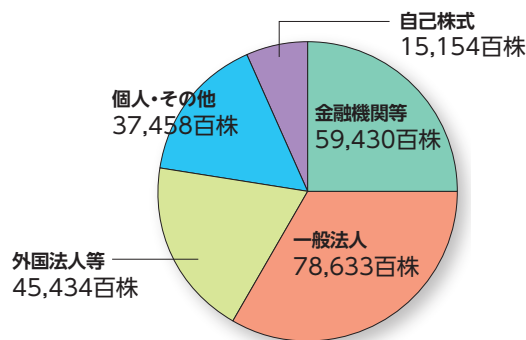
代表取締役会長 最高経営責任者(CEO)	野島雅寛	取締役	土井義彦
取締役副会長	酒井万喜夫	取締役	鈴木裕史
代表取締役社長 最高執行責任者(COO)	田谷純	取締役*	中村良道
最高財務責任者(CFO)	遠田比呂志	取締役*	奈良部耕三
常務取締役	山口久弥彦	常勤監査役	川名宏善
取締役	安井芳彦	監査役*	高橋善一
取締役		監査役*	松藤樹

*印は社外取締役・社外監査役です。

株式の状況

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	22,095,779株 (自己株式1,515,421株を除く)
株主数	2,988名

所有者別株式分布状況



執行役員

執行役員	西岡寿美
執行役員	南雲三智夫
執行役員	立花哲弥
執行役員	栗原洋幸

事業所 (2019年3月31日現在)

国内事業所

- 本社 東京都北区
- 開発本部 東京都北区
- 営業所
 - 東京営業所 東京都北区
 - 営業統括部 東京都北区
 - 神奈川営業所 神奈川県平塚市
 - 東日本第1営業所 神奈川県平塚市
 - 東日本第2営業所 群馬県館林市
 - 中部営業所 愛知県知立市
 - 中日本営業所 愛知県知立市
 - 大阪営業所 大阪府吹田市
 - 中四国営業所 広島県東広島市
 - 西日本第1営業所 広島県東広島市
 - 九州営業所 佐賀県三養基郡
 - 西日本第2営業所 福岡県行橋市
 - 工業開発部 東京都北区/
愛知県知立市
 - DIY販売部 東京都足立区

- 工場
 - 平塚工場 神奈川県平塚市
 - 静岡工場 静岡県御前崎市
 - 愛知工場 愛知県知立市
 - 広島工場 広島県東広島市
 - 九州工場 佐賀県三養基郡
 - 東九州工場 福岡県行橋市

●関連会社

- ニットク商工株式会社 東京都北区
- ニットクメンテ株式会社 東京都北区
- 株式会社ニットク保険センター 東京都北区
- 大和特殊工機株式会社 神奈川県藤沢市
- 日晃工業株式会社 茨城県坂東市
- 株式会社タカヒロ 広島県東広島市
- 株式会社ニットクシーケー 福岡県行橋市
- 富士産業株式会社 神奈川県平塚市
- 梅居産業株式会社 福岡県福岡市

●=事業所
●=関連会社



▲本社



▲開発センター

海外事業拠点・関連会社

- Uni-NTF,INC. 米国 イリノイ州
- UGN,INC. 米国 イリノイ州 他 全6事業所
- SNC Sound Proof Co.,Ltd. タイ チョンブリー県
- SRN Sound Proof Co.,Ltd. タイ チョンブリー県
- 日特固(広州)防音配件有限公司 中国 広東省広州市
- 天津日特固防音配件有限公司 中国 天津市
- 武漢日特固防音配件有限公司 中国 湖北省武漢市
- Autoneum Nittoku Sound Proof Products India Pvt.Ltd. インド タミル・ナドゥ州チェンナイ市
- PT.TUFFINDO NITTOKU AUTONEUM インドネシア 西ジャワ州カラワン



▲UGN,INC.



▲SNC Sound Proof Co.,Ltd.



▲SRN Sound Proof Co.,Ltd.



▲日特固(広州)防音配件有限公司



▲天津日特固防音配件有限公司



▲武漢日特固防音配件有限公司



▲Autoneum Nittoku Sound Proof Products India Pvt.Ltd.



▲PT.TUFFINDO NITTOKU AUTONEUM



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは予め公告して定めた日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.nttoryo.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします)
上場証券取引所 東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について
証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社へご照会ください。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）までご連絡ください。

特別口座について
株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三菱UFJ信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）までご連絡ください。

未払配当金の支払いについて
左記の株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）にお申出ください。

株主の皆様へ

平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

「省エネ・節電」が求められる状況をふまえ、弊社の省エネ・遮熱塗料をご案内申し上げます。改修工事をごいましたらぜひ下記営業所までお問い合わせください。担当者が最適なお提案をさせていただきます。

省エネ・遮熱塗料は建物の屋根から外壁、ガラス面などへ塗装することにより、室内温度の低減が期待できるため、これに伴う節電も期待されています。ニットクでは建物をまるごと対策できる遮熱ラインナップをそろえ、皆様のご連絡をお待ちしています。

省エネ・遮熱塗料についてのお問い合わせ先

日本特殊塗料株式会社

■塗料事業本部

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6203
神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135
中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12 ☎(0566)81-8111

■本社 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6131

■省エネ・遮熱塗料での改修個所の例

ベランダ・バルコニー用省エネ・遮熱塗料

プルーフロンGRトップ遮熱 ノンリークコート遮熱

ベランダ面などに当たる太陽光線を反射し、熱を放射する遮熱タイプの塗料です。

ガラス面用省エネ・遮熱塗料

NTサーモバランスNEO1

既存の窓ガラスに塗布し、赤外線、紫外線カットができる透明タイプの塗料です。

通路用省エネ・遮熱舗装材

ユータックシリカ遮熱

太陽光や熱の蓄積を抑え、路面温度の上昇を減少し、ヒートアイランド現象を緩和する塗料です。

外壁用省エネ・遮熱塗料

パラサーモ外壁用シリーズ NTダンネツコート シルビアセラティ-N遮熱

外壁面からの熱の侵入を遮り、省エネルギーに貢献するとともに快適な居住空間を実現します。

屋根用省エネ・遮熱塗料

パラサーモシリーズ

屋根からの太陽熱の侵入を防ぎ、室内の温度上昇を抑える塗料です。

大阪営業所 〒565-0852 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492
中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231
九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766

<https://www.nttoryo.co.jp/>